

日本眼科学会
専門医事業
認定番号
26190

認定単位
日本抗加齢医学会
5単位
(受検用・更新用)

第10回 眼抗加齢医学研究会講習会 第5回 ブルーライト研究会

開催日程： **2016年10月30日(日)**
10:00 - 16:50

会 場： ベルサール八重洲
東京都中央区八重洲1-3-7八重洲
ファーストフィナンシャルビル3F ROOM3

本年は眼抗加齢医学研究会のセミナーとブルーライト研究会のセミナーが同日開催となりました。1日で2倍ためになる！ 眼とアンチエイジングの話題が詰まった講習会です。

眼は実は加齢と深く結びついていることがわかってきました。ブルーライトとサーカディアンリズムを介した「代謝」は加齢の重要なキーワードとなっています。そして本セミナーの特別講演として、2014年にノーベル物理学賞を受賞された中村修二先生にご登壇いただきます。新しい時代を切り拓いた最先端の科学のお話が聞けるものと思います。ご期待ください！

眼抗加齢医学研究会世話人代表
ブルーライト研究会世話人代表
坪田 一男

主催： 眼抗加齢医学研究会
ブルーライト研究会

第10回 眼抗加齢医学研究会講習会 ◎ 第5回 ブルーライト研究会

開催日程: 2016年10月30日(日) 10:00-16:50

会場: ベルサール八重洲 ファーストフィナンシャルビル3F ROOM3

開会のご挨拶 10:00~10:05

開会の言葉 坪田一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

サプリメント/フードファクター

座長
中澤 徹

東北大学医学部眼科学教室 教授



10:05~
10:35



ブルーベリーサプリと眼精疲労

北市 伸義 北海道医療大学個体差医療科学センター眼科学系 教授

1993年北海道大学医学部卒業後、同大学修士課程を修了し、2001年ハーバード大学医学部眼疾患分子基礎プログラム研究員・日本学術振興会特別研究員として勤務。帰国後、北海道大学大学院助教授、北海道医療大学個体差医療科学センター准教授を経て2013年に教授に就任。炎症性眼疾患や眼精疲労の研究に取り組む

10:35~
11:05



腸内細菌サプリ

坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

1980年慶應義塾大学医学部卒業。米ハーバード大学にてフェローシップ修了。角膜移植、ドライアイ、屈折矯正手術の第一人者。再生角膜移植、近視・乱視・遠視・老眼などの最先端の治療に取り組む。近年は研究と診療に抗加齢医学を導入。日本抗加齢医学会理事長、日本再生医療学会理事

11:05~
11:35



ω3脂肪酸と抗加齢

遠藤 仁 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教授

2002年慶應義塾大学医学部卒業後、同大学大学院にて循環器内科学専攻修士課程を修了。2008年同大学循環器内科学教室助教を務めた後、伊勢原協同病院循環器内科、東京大学大学院薬学部衛生科学教室、などでの研究員を経て、2014年に慶應義塾大学医学部予防医療センター助教授就任。2016年より現職

休憩 11:35~11:45

トピックス



座長
小沢 洋子

慶應義塾大学医学部 眼科学教室 講師



11:45~
12:15



老化予防のための運動

永富 良一 東北大学大学院医工学研究科 医工学専攻 教授

1984年東北大学医学部医学科卒業後、東北大学教養部保健体育学科助手、同医学系研究科助手、同医学系研究科障害科学専攻教授を経て、同大学大学院医工学研究科 教授に就任、現在に至る。骨粗鬆症・ねたきり予防のための運動トレーニング、日常生活活動の携帯型活動量計によるモニタリングなどの研究に従事

12:15~
12:45



顔のしわ・たるみは眼瞼下垂から始まる (そのメカニズム、治療・予防法)

宇津木 龍一 クリニック宇津木流 院長

1980年北里大学医学部卒業後、同大学形成外科・美容外科学教室に入局。1992~1995年ペンシルバニア大学形成外科留学。1999年日本初のアンチエイジング専門施設北里研究所病院美容医学センターを創設、センター長に就任。2007年より現職。日本における数少ない、しわ・たるみ治療専門の形成外科専門医

12:45~
13:15



経口・経皮投与によるLPSの有用性について

杉 源一郎 香川大学医学部統合免疫システム学 教授・新潟薬科大学 特別招聘教授

1977年東京大学卒業。帝京大学教授、徳島文理大学大学院教授などを経て、香川大学医学部統合免疫システム学寄附講座客員教授、新潟薬科大学特別招聘教授。産学官連携の研究開発を目的として、自然免疫応答技術研究会、自然免疫制御技術研究組合代表理事を務める。内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」研究代表者も兼任

休憩 13:15~13:30

ランチディスカッション 13:30~14:10



休憩 14:10~14:30

眼抗加齢 and ブルーライト

座長
石田 晋

北海道大学大学院医学研究科眼科学分野 教授



14:30~
15:00



眼抗加齢&ブルーライトアップデート

坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

ブルーライト



座長
谷戸 正樹

島根大学医学部眼科学教室 医局長



15:00~
15:30



時間栄養学と体内時計

柴田 重信 早稲田大学 先進理工学部 電気・情報生命工学科 薬理学研究室 教授

1976年九州大学薬学部薬学科卒業。同大学大学院薬学研究科博士課程修了後、同大学薬学部助手、ニューヨーク州立大学リサーチフェロー、早稲田大学人間科学部教授などを経て、2003年に早稲田大学理工学部教授に就任、現在に至る。時間栄養学に視点を向け、体内時計と健康の関係の研究に従事。

15:30~
16:00



屋外環境光と近視の関係

鳥居 秀成 慶應義塾大学医学部眼科学教室 特任助教

2004年慶應義塾大学医学部卒業。横浜市立市民病院で2年間臨床研修後、2006年慶應義塾大学医学部眼科学教室に入局、2015年に同科特任助教に就任し現在に至る。同年に新設された「光生物学グループ」に所属。近視の環境因子と近視進行抑制法について、基礎・臨床の両面から研究を行っている。

特別講演

2014年ノーベル物理学賞を受賞 中村修二 教授

座長
坪田 一男
慶應義塾大学医学部
眼科学教室 教授

デジタル機器のディスプレイ、照明機器、信号、電光掲示板など、生活の中のあらゆる場面で私たちの生活に不可欠なものになっているLED。全ての色の再現に必要な青色LEDの発明により明るく省エネルギーな白色光源が可能となったが、中村修二氏は高効率青色LEDを発明し、その功績によりノーベル賞受賞に至った。

「省エネの技術で人類に貢献したい」との思いから、消費電力の減少によって地球温暖化やエネルギー問題の解決を目指す中村氏に、最新の研究内容と将来に向けた取り組みについてご講演いただきます。

16:00~
16:45

高効率青色LEDの発明と将来の固体発光光源



中村 修二 カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授

1977年徳島大学卒業。同大学修士、博士課程を修了後、日亜化学工業に入社。1988年より米フロリダ大学に1年間留学(a visiting research associate)、三族窒化物材料を用いた青色発光ダイオードの研究に着手。2000年カリフォルニア大学・サンタバーバラ校の材料物性工学科教授に就任。2014年ノーベル物理学賞受賞

閉会のご挨拶 16:45~16:50

懇親会 17:00~17:30



第10回 眼抗加齢医学研究会講習会・第5回 ブルーライト研究会 運営事務局(株式会社メティプロデュース内)
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-35-8F TEL:03-5775-6070 FAX:03-5775-2076 Email:eye@anti-aging.gr.jp